

「麻績村の概況」と 「伴走型支援を受ける前の状況」



長野県 おみ
麻績村



地域包括支援センター
関崎 豊

麻績村の概況

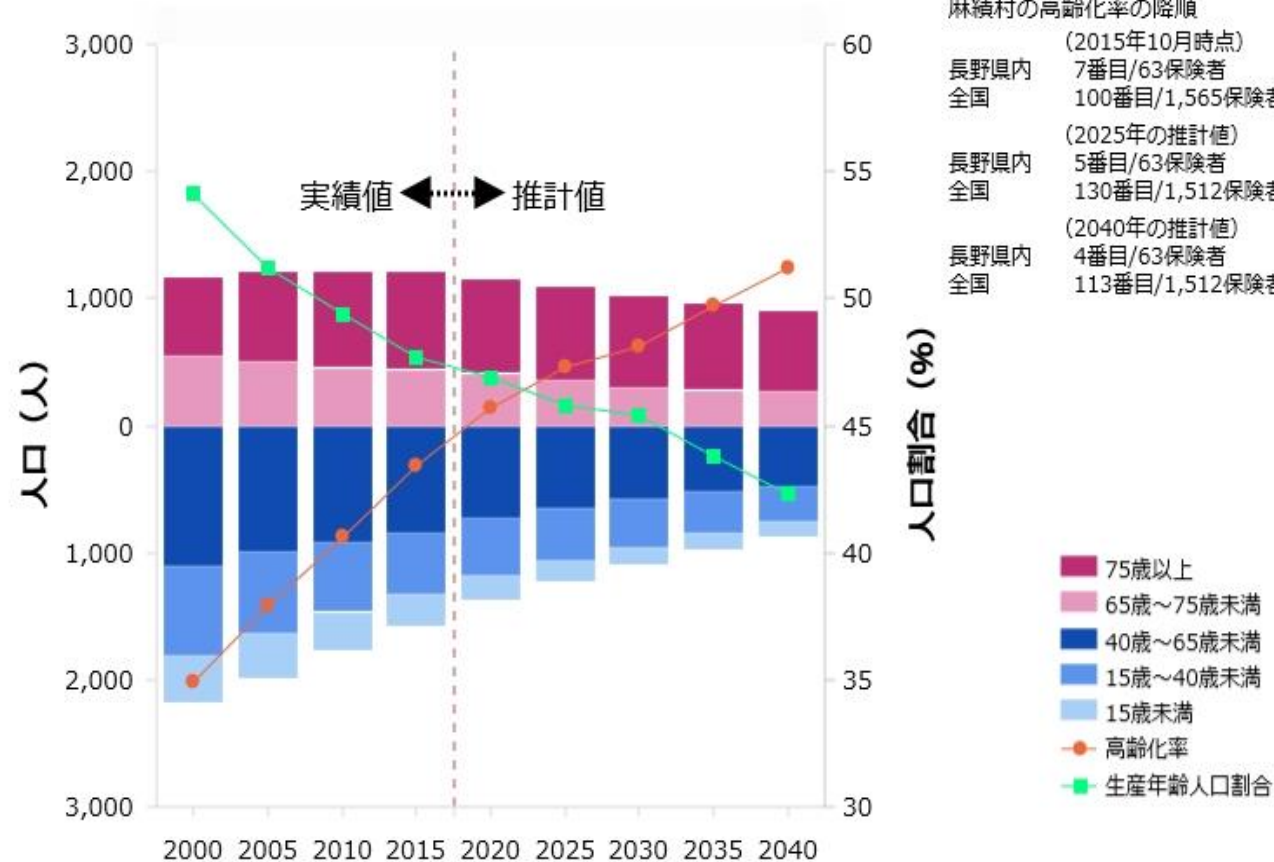
- ・面積 34.38km²
- ・地域包括支援センター 直営 1ヶ所
- ・日常生活圏域 1 圏域
- ・第 7 期基準額 6600円
- ・生活支援コーディネーター
第1層 1人、第2層 1人

- ・地域特性など
県内の三大都市圏に囲まれる
中山間地域
稲作、傾斜地を利用した果樹栽培
(リンゴ) が盛んだが、 後継者不足深刻



～見える化システムより～

麻績村の人口の推移



- ・人口 2723人
- (1134世帯)
- ・高齢者人口 1186人
- ・後期高齢者人口 757人
- ・高齢化率 43.55%

2015年をピークに高齢者
人口減少始まっている。
後期高齢者割合が高い

(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」
2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

伴走的支援を受ける前の状況

1) 総合事業について

- 事業開始年月 平成29年4月
- 訪問型サービス(従前相当: 1カ所のみ)
- 通所型サービス
 - 従前相当 : 2カ所
 - サービスA : 2カ所(従前相当に併設)※半日
 - サービスC : 1カ所(地元医院デイケアに委託)
- その他の生活支援サービス(配食: 1カ所)

伴走的支援を受ける前の状況

2) 生活支援体制整備事業

- ・ 事業開始 平成28年2月
(重点課題として平成27年4月より検討)
- ・ 第1層コーディネーター 1名
第2層コーディネーター 1名配置
- ・ 取組内容(第1層)
協議体会議(年3~4回)
支えあい学習会企画運営
資源マップの作成、更新
情報交換など
- ・ 取組内容(第2層)
地区巡回の懇談会



伴走的支援を受ける前の状況

3) 地域ケア会議の実施状況

- **参加者** 包括、ケアマネ、介護事業所
他の専門職、インフォーマルな支援者の参加はなし
- **開催頻度** 概ね隔月
- **進め方** 事例検討（簡単な）、情報交換
インフォーマルな支援者等の参加については、
常に必要性が論じられていたが、過去からの
流れの中で、話題になるだけで終わっていた・・

伴走的支援を受ける前の状況

4) 担当者の課題認識① ～総合事業～

- 自治体独自単価の枠を使い、半日、支援2週1回など、利用者の細かなニーズへの対応は行えた。
- サービスA、C結局のところ、介護保険事業所が運営。介護現場の人員不足が想定されるが、

「住民主体のサービス」なんてできるのか・・・

- 総合事業にアクセスしやすくなってしまった分、利用希望が増え、上限額をこえてしまうかも・・・。

伴走的支援を受ける前の状況

4) 担当者の課題認識② ～生活支援体制整備事業～

- 2年半経過したが

『何かが変わったという実感が
あまり得られない。』

新しい動きを作りたいが、職員人数に限りがあり十分に動けない。

- 協議体の運営の中で、資源マップ、啓発イベント、支えあい学習会など一定の成果は得られた。近年では議論も停滞傾向だが、縮小に踏み切れない。
- 他の事業の繰り返しで、個別課題の検討、第2層との連携については、あまり注力できていない状況だった。